横浜市立瀬ヶ崎小学校　学校便り
せがさきの風
大きな朝日さしのぼる　希望と愛の花が咲く
世界に窓を開け放つ　瀬ヶ崎小学校　ここは
〒236-0037　横浜市金沢区六浦東三丁目２番１号
TEL 781-2446・2447　FAX 701-4892
ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/
メールアドレス y3segasa@edu.city.yokohama.jp

10月号
2023（令和５）年
９月29日発行

すがすがしい気持ちになりました

校長　日暮　勤

残暑が厳しい9月、感染症の流行もありましたが、そんな中、子どもたちは10月のスポーツフェスティバルに向けて練習を始めました。短距離走のタイム計測や、ダンスをしっかり伝達しようと練習を行う師匠学年の真剣な姿が学校を活気づけています。

9月下旬、ある学援隊の方から次のような手紙をいただきました。

> **すがすがしい気持ちになりました**
>
> 9月15日（金）の15時過ぎの下校時の事です。柳町へ帰宅途中の二人の6年生が16号線の信号を渡る際に何かを拾い、渡るのをやめて、戻ってきてすれ違った方に拾ったものを渡しました。
> その方は自販機で飲み物を買おうと思ったのでしょう。信号を渡りながら財布を取り出した時に、100円玉か何かを落としたのを見て、その二人は渡るのをやめて戻り、拾ってその方に渡したのです。
> 私は車で信号待ちをしており、一番前でその一部始終を見ていましたが、仕事帰りで疲れていた身体がいっぺんにすがすがしい気持ちになりました。

この手紙を読んだ私もすがすがしい気持ちになったのと同時に、この二人と話したくなりました。

後日二人に校長室にきてもらい、この手紙を見せました。「わたしたちのことを見てくれていた人がいたんだな。」と二人は少し照れくさそうな顔をしました。手紙をくれた方の顔写真を見せると、「知ってる。校門のところに立っていた人だ。」と誰からの手紙かも分かりました。その時のことを聴くと、財布からたくさんの小銭を手のひらに出した時に落ちたお金だったこと、50円玉だったこと、信号の変わり際で落とした方を呼び止めても間に合わないと思い、拾ってその方を追いかけたこと、「ありがとう」と言われたことなどを教えてくれました。その話から、学援隊の方の見た光景がより一層はっきりと頭の中に浮かんできました。

この子どもたちの親切心と行動は、親切を受けた方の「ありがとう」という気持ちはもちろん、見かけた学援隊の方のすがすがしい気持ちにまで広がりました。その話を聴いた私にも瀬ケ崎小の子どもの温かさや地域の方々とのつながりの温かさを再認識させてくれました。こんな風に思いが広がっていったことを二人に伝えると、この子どもたちも共感してくれました。

この出来事について、校長室に遊びに来た別の子どもに話すと、「私も自転車でころんだおじさんを助けたことある。」「重そうに運ぶ荷物を持ってあげた。」と自分の行った親切を私に教えてくれました。「瀬ケ崎の子どもってそういうことを当たり前にやれるのがすごいと思う。」と私がコメントすると、「だから校長先生は瀬ケ崎小にきたの？」と聞かれました。私はその子どもらしい発想に癒されました。そして「瀬ケ崎小に来てから君たちを通して分かったことです。瀬ケ崎小に来て本当によかったと思っています。」と答えました。

今回、このことを学校にお知らせいただいた学援隊の方に心から感謝しています。このような親切心が瀬ケ崎小の子どもの日常にはたくさんあること、地域の方々が子どもたちを日々見守り、その思いや行動に共感、感動してくださっていることに子どもと共に気づくことができました。

これからもこの瀬ケ崎小に関わる皆様と共に、このような親切と感謝がつくるつながりを広げていきたいと思います。